

平成 26 年度 都城市文化賞

平成 26 年度都城市文化賞受賞者

文化功労部門 たしろ よしひろ 田代 義博 氏 (68 歳) 都城市都原町在住

田代義博氏は、都城の歴史を題材にした歴史小説の執筆活動や都城の歴史や文化に関する講演活動を長年にわたり継続的に行っておられます。

また、都城の歴史観光ガイドの養成講座の講師を務めるほか、青少年への地域文化の継承活動などをおして「歴史と文化によるまちづくり」に積極的に取り組まれておられます。

都城市文化賞は、本市の文化の向上発展に顕著な業績又は功労のあった個人、団体に対し、都城市文化賞条例に基づき贈呈するもので、①学術部門 ②芸術部門 ③技術部門 ④社会教育部門 ⑤体育部門 ⑥文化功労部門 の6つの部門があります。

新都城市になって以降、今年が9回目で、これまでに芸術部門2人、社会教育部門1人、体育部門2人、文化功労部門5人の計10人が受賞されています。

また、旧都城市においては、昭和44年の制定以降、学術部門5人、芸術部門13人、文化功労部門43人と5団体、体育部門8人と1団体、社会教育部門19人と1団体の計88人と7団体が受賞されています。

<略 歴>

- 昭和60年、都城史談会、南九州文化研究会に入会。
- 平成元年、庄内の乱を描いた歴史小説「都城の乱」を執筆、出版。その後も都城島津の幕末を描いた「都城幕末伝」などの歴史小説を執筆、出版。
- 平成4年、都城市民劇団公演「都城の乱」の脚本を執筆し、その後も同劇団公演の脚本を数本執筆。
- 平成5年、南九州文化研究会の季刊誌「南九州文化」に歴史小説「悲しみの賦」を連載開始し、その後も継続的に同誌に歴史小説を連載。
- 平成19年、「都城歴史と文化のまちづくり会議」(平成21年にNPO法人化)を設立し、代表に就任。同会議が主催する旧薩摩藩の伝統的な青少年教育である「郷中教育」の体験講座、歴史観光ガイド講座などをおし、歴史と文化によるまちづくりを積極的に推進。
- 都城の歴史・文化に関する講演活動を行うとともに、島津発祥まつりなどにも積極的に協力。

<主な役職>

- 平成19年、歴史と文化のまちづくり会議 代表、南九州文化研究会 副会長
- 平成21年、島津発祥まつり実行委員
- 平成22年、都城歴史観光ガイドの会 顧問、宮崎県文化財保護指導委員
- 平成23年、島津を温める会 顧問
- 平成25年、都城市歌選定委員

<受賞歴>

- 平成22年、都城北ロータリークラブ「社会奉仕賞」

文化賞贈呈式

日時 平成26年11月13日(木) 15時～

場所 都城島津邸(都城島津伝承館2階交流室)

※表彰後、田代氏による記念講演が開催されます

演題「都城の歴史から見えてくるもの」